

## 平成30年 第11回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成30年9月19日（水曜日）午前9時開会／午前10時20分閉会

招集場所 加賀市民会館3階 15会議室

教育長 山下修平

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子、佐野明子

会議列席者 梶谷事務局長、越中谷次長兼学校指導課長、山本教育庶務課長、宮下生涯学習課長、新家中央図書館長、  
柏田山中図書館長、宮本教育総合支援センター所長、中田スポーツ課長、奥村マラソン開催推進室長、  
山下教育庶務課長補佐

平成30年第11回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○山下教育長 おはようございます。9月に入りまして、学校の方も2学期がはじまりました。

2学期がはじまり台風や大雨があつて、一雨ごとに涼しくなつて、今は本当に夏の暑さは何だったんだろうというくらいに涼しくて過ごしやすい日々になりました。この9月に体育祭や運動会が計画されていたんですが、それも台風や雨の影響でだいぶ流れたり、実は今日も運動会をやっているところがありますし、あと半分残っているんですが、今週の土日22、23日とそれから29日に運動会を開催します。中学校は全部終わりました。あと小学校が残り半分くらい残っているんですが、この3日間ですべて終わられるかなと思います。

2学期に入りまして計画訪問がはじまります。9月25日から2学期はあと10校残っております。教育委員さんにはまた運動会、計画訪問等よろしく願いいたします。

それから9月議会真っ最中でありまして、先週の10、11日は本会議、一般質問が行われました。教育委員会には相変わらずたくさんの質問が出て、私と局長で併せて15回以上答弁に立ちましたし、昨日は予算決算委員会がありまして、これも局長は10回以上答弁をしました。やはりこの時期ですので、エアコンの設置等の質問がよく出ました。市長の3年以内にすべての学校にエアコンを設置したいという提案もありましたし、それを受けて少しでも早く設置をするために緊急的なことも考えたり、あとは全部つけられなくてもせめて普通教室だけには早くつけたいというようなことで、3年とは言っておりますが、できたら来年、再来年のうちくらいにつけられたらなというようなことも考えております。ただ全国一斉で同じようなことを言っておりますので、果たして物が調達できるのか、工事関係の人がいるのかどうか、そういうようなこともありますので、そこら辺りを見ながら1日でも早くつけていきたいなと思っております。明日は教民の分科会、委員会がありますし、来週の26日には本会議最終日となっております。

この2学期というのは非常に行事が多い時期で、教育委員の皆さんにも学校に足を運んでいただく機会が結構多いかと思いますが、それは子ども達の活躍を見る良い機会にもなりますし、足を運んでいただいて学校の様子をぜひ見ていただけたらなというふうに思っております。よろしく願いいたします。

それではさっそくですが審議事項に入っていきたいと思っております。今日の審議事項は1件です。

議案第 48 号、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について山本課長お願いいたします。

● 議案第 48 号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について  
(継続審査)

山本課長 資料に基づき説明

○山下教育長 この教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書については、前回からの継続審議です。質問なりご意見なり出していただきたいと思います。いかがですか。

○篠原委員 お願いします。何点かありますので、まず学校指導課のところだけで区切って質問をさせていただきたいと思います。主に前段の 3、4 ページに書かれてあります実施概要のところを中心に質問させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

まず 20 ページです。プログラミングの体験を通じた学習の推進という項目です。加賀市は県下あるいは全国的にも先導的にこのことを、教育委員会のみならず市長部局全体を通して積極的に推進していらっしゃるということをお聞きしております。それでその内容についてはそこに書かれている通り大変素晴らしいことだと思っております。昨年度も 1,000 万円弱の予算を投じて非常に重点的に行っていらっしゃると思っております。そこで成果と課題のところで、「小学校は 4 人に 1 台、中学校は 3 人に 1 台の割合で整備したが、インターネット回線速度が遅いため、回線増強工事を行う必要がある」というようなことがあるので、全国的にはまだまだなのかもしれませんけれども、これから 1 人に 1 台という方向でぜひ進んでいただきたい。そのためにはだいたいどのくらいの計画でそれをやる予定があるのか。また回線速度が遅いというのは致命的な問題なので、環境を改善するのにどのくらいで予定されているのかということについてまず伺いたいと思います。よろしくお願いいたします。

○越中谷次長 はい。回線速度に関しましては、昨年度こういう課題が出ていたということで、今年の夏休み中にすべての学校で工事を行いまして、回線速度の改善を図っております。

それからタブレットに関してですが、小学校の方は一番多い人数のクラスに 4 人に 1 台ということになりますので、学校規模によるんですが、だいたい 35 人だったら 7、8 台になってくるかなと思うんですが、その割合で入れてあるのと、あと中核教員、エバンジェリストが 10 名配置されていますので、その方には 1 人 10 台入れてあります。今後の予定についてですが、一応 5 年計画くらいで、パソコン教室に今デスクトップ型が配置されているんですが、リース契約が切れることを含めて、それをタブレットに変えていくということで、どこでも使えるようなところを今整備する予定をしております。ただそのハード面だけでなく、ソフトが入っていないとなかなか使いづらいという学校の要望があるのでそれも踏まえて専用ソフトを入れているんですが、その辺りの整備も含めて 5 年あたりで検討しているところです。ただ 1 人 1 台というところまではなかなか 5 年では難しいのかなというふうには考えています。

○篠原委員 ありがとうございます。これから 2020 年新学習指導要領に関連しても、電子教科書が飛躍的に増えると思うんです。それに対応することも考えて、できるだけ早く子ども達には 1 人 1 台の環境を可能にできるように、また事務当局から積極的に予算の方に働きかけていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

続いて 24 ページです。学力向上公営塾の開催、大変これは素晴らしい取組だと先ほどの田邊先生の書見にも出ておりましたし、私自身も思っております。ぜひこれを拡大していただきたいし、充実を図っていただきたいと思っておりますけれども、成果と課題の昨年度のところです。今後は会場を増やすということがまず出ております。今年度少し増えたのかなと思っておりますけれども、あるいは欠席が続く児童生徒や、集中力に欠ける児童生徒もいると。やはりこれは若干問題があるんじゃないかと思っておりますので、そのことも併せての対策と今後の方針についてお聞かせいただけないでしょうか。よろしく願いいたします。

○越中谷次長 はい、会場数の増加は今年はこのを受けてできなかったんですが、放課後かも丸塾の期間を長くして、トータルの日数を増やすという方向で今年に変更してあります。課題の中にも書いてあります集中力に欠ける児童生徒ということで、今年度もそういう傾向が少し見られたクラスがありました。指導主事の方を派遣して状況を確認するというのと、学校の方にも連絡を入れまして趣旨にあった活用、運用ということをぜひお願いしたいということで、今度 10 月からまた後期のかがかっこ休日スクール等が始まりますので、それに併せてスタートのとき、開会式のときにまた指導主事がすべての会場へ行って、この方針の趣旨をもう 1 回説明してみんながしっかり勉強できる環境でということをお伝えしようと考えています。

○篠原委員 ありがとうございます。せっかく公営塾ができるので、まず地域間格差をなくしていただきたいということをお思います。まだまだ小学校においては開かれていない地域もある、中学校においては各地域で中学校会場を中心に行っているとお聞きしていますので、それはそれでいいと思っております。ぜひ地域間格差をなくして、すべての加賀市の地域で公営塾に行くことができるような環境づくりをしていただきたいと思っております。

それから子ども達についても、そういうような子ども達がいることも聞いておりますので、指導者の先生方にも併せて指導力向上をお願いしたいし、それから子ども達にも真剣にやっていたいただきたいということも併せてお願いをしたいと思っております。

次の項目でよろしいですか。27 ページの生徒指導の充実のところですか。Q-Uを行っているということで、あるいはスクールソーシャルワーカーの派遣をしているということで、いわゆる不登校、いじめ等々の防止と、未然のための対策は十分にできていると思っております。これも予算を見ていると、平成 27 年度から若干増えていますけれども、今年度はこれくらいなんだと併せてお聞きしたいし、できれば Q-U の実施状況ですね。たぶん 2 回しないと意味がないものなので。私自身は現職のときに過去に別のところからお金を出して、独自でさせていただいた経験もありますけれども、やはり各学校で Q-U という事前に学習環境の中での子ども達の存在、どこにいるのかというようなところを把握するような検査の活用、これは以前に先生も教職員研修で夏休みにいらしていただいたこともあると思っておりますけれども、それも踏まえてぜひ各教職員の先生方、各学級担任の先生方に Q-U 検査の意義を大切にいただきたいということは併せてご指導いただきたいし、現在はどの程度、全学校ではないと思っておりますので、全学校にできれば検査できるような予算をつけていただきたいと思っておりますけれども、その状況も併せて教えてください。

○越中谷次長 はい、Q-U 検査については平成 24 年度からモデル校事業を実施してまいりました。学校の方では各 1、2 回行って、1 回目の状況を見てそこに併せて、手立てを打った上で 2 回目の検査をすることが非常に有効であるということで、2 回実施の補助等もしてまいり

ましたが、今年度に関してちょっと今調べていますので、少しお時間をいただきたいと思いません。

ただ加賀市いじめから子どもを守る条例の方が制定されまして、市の方でも加賀市いじめ防止基本方針を策定しました。それを各学校の方に通知して、防止方針というのも各学校で定め、それをホームページ等の方にも今載せて周知を図っています。この中で不登校とか、学級作りとか、いじめ防止とかをすべて含めて学校の方できめ細かに対応するというので、今進んでいるのかなと考えています。Q-Uに関しては平成24年から数年されているので、その成果も学校では出つつあるのかなということと、先ほど篠原委員さんも言われた通り、各学校予算で行っている学校がありますので、その辺りは調べてまたお伝えさせていただきたいと思いません。

○篠原委員 ありがとうございます。私は学校指導課に関しては以上です。

○山下教育長 他、ございませんか。

○山下委員 はい。32ページの幼保・小・中・高の連携ということで、総合教育会議のときにも質問させていただいたことなんですけども、特に高校との連携を、実際これは大きく活動しているように見えないんですが、実際どういう動きをしているのか、詳しく教えていただければと思います。

○越中谷次長 生徒指導連盟の方で中学校の生徒指導担当と加賀市の公立高校4校と、大谷高校含めた5校、それから警察等関係機関も含めて生徒指導連絡会の方を行って、各学校のいじめ、不登校の状況や学校の様子というのを連絡し合っています。高校の方は就学説明会ということで、まとめてカモナホールの方で開催して、中学校の保護者生徒の方に説明会を開くということをしております。あと高校の方としては、例えばロボレーブの大会の運営役員に高校生に出ていただいて、中学校の生徒も出ておりますので、その辺りとお手伝いをしながら連携を図っています。

○山下教育長 ちょっと補足しますと、生徒指導関係も中高でやっていますし、進路関係でも中学校の校長と高校の校長が年間2回ほど会議をもって連携をとっています。それから今高校の方は加賀市のいろんな行事に積極的に参加をさせていただいております。ロボレーブもそうですし、加賀温泉郷マラソンで加賀高の和太鼓とか、先日の十万石祭りのときにも大聖寺実業高校がロボレーブの指導を小中学生にするとか、そういうようなことで結構連携をとっています。それから今回の議会でも質問が出たんですけど、やはり加賀市を活性化するためには高校を活性化しないといけないだろうということで、今、市長をはじめ教育委員会も高校の活性化とか、小中高の連携とか、そういうことを含めてどういことをすれば活性化するかと。

それから先日嶋田うれ葉さん、加賀校出身の脚本家で、今NHKBSに出ていますけど、その方の講演会をするとか、そういうふうにして結構連携を深めていくということに努力してやっています。他、ございませんか。

○山下委員 はい、43ページの普通教室等の冷房化と空調機械等の設備更新の実施について、評価としては拡充とございまして、確かに予算も大きく増えています。今年の猛暑を受けて、今後の実施計画というか、展望をお教えいただければ有り難いと思いません。

○山本課長 はい、学校の冷房関係の今後の予定ということで、まず現状で申し上げますと、教室に冷房がついているのは小学校で4校、中学校で4校であります。これまでは防衛省の補助金とか、文科省の補助金とか、その採択を前提としまして進めてきておりました。ですから

補助金の採択がないと実施できないということなので、年度あたりの実施校数も1校から2校で進めてきました。それで今年の夏の猛暑を受けまして、このままではいけないということで、この9月議会でも答弁をしていたところなんですけれども、このペースを早めまして、今後3年以内を目途としまして、全部の学校でまずは普通教室での冷房の整備を進めていくと、そういった方針を掲げたところです。ただ3年以内を目指しながらも課題としてはいろいろ想定されるところでして、冒頭に教育長も言われましたエアコンの機械の調達、全国的にどこの自治体も一斉に導入を開始しますので、メーカーからの調達がどんな状況になるかとか、あとは設置業者の人手とかそういったものの手配の関係とか、そういったような課題も想定される場所ですけれども、情報を集めながら早急に年次計画を立てて、それでまずは普通教室の整備を3年以内を目途に進めていくと、そういった方針であります。今後3年間、何年度にどこの学校というのは現時点ではまだ整理できておりませんので、まずは年次計画を早急に定めまして、また教育委員会の方にも報告しながら進めていきたいというふうに思います。以上です。

○山下委員 ありがとうございます。

○山下教育長 他、ございませんか。

○佐野委員 はい。3年以内というお話ですけど、今年の夏からしたら3年も待てないという状況なんですけど、市議会で中川議員の答弁で教育長もお話されている内容にもあるんですけど、学校ごとに柔軟な対応ということで、小さな学校であればエアコンがついている教室での授業というのも可能なんですけど、どうしても大きいところだとそういうわけにもいかないと思うんです。エアコンがつくまでに早急にできることといたら何か考えておられますか。

○山本課長 はい、佐野委員がご指摘の通りでして、保護者の方からは来年の夏までにでもとそういった声がこちらの方にも届いております。その中で整備計画としては3年以内を目途として進めていくんですが、その3年目の計画になった学校への対応というか、その辺りは議会の答弁でもあったんですが、今すでについている教室もあります。音楽室とかコンピューター室とか今すでに冷房がついている教室もありますので、あらかじめの授業のやり方を工夫する計画を立てる中で、冷房のついている部屋に移動して授業をすとか。これは今年の夏もすでに学校によってはそういった運用の仕方をしている学校もあったようなんですけど、そういった冷房がついている部屋の活用。あとスポットクーラーを今暫定的に特別支援教室などでは配置すとか。そういったような対応をしていきたいと思っております。

○佐野委員 やっぱり中学校になると3年生とかを優先的にしてほしいなというのはあるんですけど、階にもよりますけど、1階と3階では何度も違うので、教室の階の入替えとかそういうふうな考え方もできるのかなと思うので、またよろしくお願いします。

○山下教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 他のところでよろしいですか。102 ページ、スポーツ課のスポーツの啓発活動と情報提供の充実という項目です。ここにはノルディックウォークのことについて事例が載せられていました。今年度たまたま私も参加させていただいたんですけど、大変暑い日だったので事務局も大変だったと思いますが、非常に良い取組だなと感じさせられました。それで真夏にするというよりも、春とか秋という時期にさせていただいた方がより市民の方の参加が増えるのではないかなと思ったりもいたしました。それからイベントとしては年1回くらいの予定をなさっていらっしゃるんだと思うんですが、いろいろなコースは出来上がっていると思うんで

す。そういうコースの情報提供みたいなことも併せて、スポーツ課に置いてあると思うんですけど、各地区会館とかにそういうようなものを提供したり、配布したりしていただくことによって幅広く市民の皆様方がウォーキング、あるいはノルディックウォークみたいなものに親しむ機会になって健康増進のためになるんじゃないかなと思いますので、そのようなこともわかったらぜひ教えていただきたいと思います。

○中田課長 はい。ノルディックウォーキング教室につきましては、スポーツ課の方としましては、スポーツ推進委員さんを中心に5、6年前から毎年実施しているものです。昨年からは、健康課とタッグを組みまして、市の方針として健康事業を推進していこうという取組が開始されました。健食健歩プロジェクトということで、その中の一環事業として我々が今までやっていたものを盛り込んだというかたちで、ご参加いただいた方につきましては、健康フェスタというものを昨年度から開催しておりまして、その中の一プログラムとして、ぜひ出してもらえないかということで、協議をして当日の開催が7月であったということです。これに合わせて、スポーツ課で作ってございました各地区ごとにあるウォーキングマップというものも一度精査しまして、標準的なコースを市民の皆様にご提案をしているところであります。こちらの方につきましては地区会館の方にも配布をしておりますし、またホームページ等々にも掲載をしているので、もう一度確認をしますけれども、せっかく作ったものですので、広く皆さんになんとか周知が行き渡るような工夫をしていきたいというふうに思っております。

余談になりますけれども、ウォーキング教室につきましては、市のノルディックウォーキング協会の方とも提携しておりまして、毎月1回いろんな地区を選定していただいているのは実状です。毎回だいたい30人前後の方がご参加いただいているということで、どの地区もふるさと再発見じゃありませんけれども、歩くことと加賀市のより良いところを自分たちの足で歩いて探すという、ふたつのコンセプトを持って実施をしております。今後委員がおっしゃるように、とにかく一人でも多くこのことを知っていただくように努めていきたいと思っております。

○篠原委員 ありがとうございます。またよろしくお願いたします。併せて106ページです。スポーツ施設の整備計画についてお尋ねいたします。そこには昨年度黒崎小学校のグラウンド跡地を芝生化したこととか、橋立自然公園のことも出ています。特に私が気になっているのは、黒崎小学校のグラウンド跡地は、今どのくらいの利用があるのかということをお教えいただきたいと思っております。それから課題のところでは屋内プールについても大規模修繕が必要だということで、一番大事なのは安全ですから、危険なことが昨年プールで起きましたので、それも併せてその補修計画なども決まっていましてお聞かせいただきたいと思っております。2点よろしくお願いたします。

○中田課長 はい。黒崎小学校のグラウンド跡地につきましては、現在主に使用していただいているのはグランドゴルフの方、それからマレットゴルフという新しいニュースポーツがありまして、そちらの協会が立ち上がりましたので、そちらの方々が主に練習を月に最低1回、こちらの方で練習会を兼ねた定例会をされています。それから一般のサッカーはちょっととりづらいたんですが、子ども達のジュニアのサッカーであればコートがとれますので、そちらの方で練習、試合等も毎週のように行われております。夏休み期間中であれば平日もそちらの方でクラブチームにたくさんご利用いただいております。それから大聖寺高校の女子サッカー部なん

かも、実際の学校のグラウンドでは野球部、サッカー部等々の使用があるので制限されるということで、こちらの方をご利用いただいているケースもあります。やはり芝の上で実際に蹴ると土の上で蹴るのとでは練習の質が全然違うということで、徐々に利用人口もいろんな範囲で広がっているところです。正確な数字については今まだ把握できておりませんが、そのようなかたちで徐々に使用については広がっている状況です。

それから公共施設マネジメントを含めた市のスポーツ施設につきましては、スポーツ推進審議会の方で今ご提案をしているところで、今年度中には年次計画ではありませんけれども、だいたいの方針を固めていきたいというふうに思っております。ただ委員ご指摘のプールについては非常に難しい問題でありまして、改修しても新築しても非常に巨大な予算が必要になってくるということで、こちらの方はまだちょっと実際の計画を立てる段にはいたっておりません。こちらの方も現状すぐにどうということはないんですが、慎重にプールについては計画を立てなければいけないという状況です。

○篠原委員 ありがとうございます。ぜひ芝生の運動場、あるいはプールなんかも高齢者がよく利用している事例がありますので、やはり高齢者の先ほどの健康管理と併せて、そのようなことの利用促進も図ってほしいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

○山下教育長 他、ございませんか。

○山下委員 はい。148 ページの保存地区の適正な維持管理のところ、それぞれ保存地区の世帯というのは高齢者になっていると思いますので、保存を進めていくにあたっての負担割合とか、そういった実際に保存すべき建物の所有者がどういうことであるか把握しているのかということをお聞きしたいんですけれども。

○嶋崎課長 はい。現在の所有者さんに関しては、世代交代をされているかどうかというところまでは、こちらの方では把握はしていないので、修理があった物件に関しましては所有者さんから連絡があって、修理費もかかってくるということになりますので。補助の割合に関しましても、国の制度になっています。

○篠原委員 すみません、そこに関連してお願いいたします。149 ページでその成果と課題のところ、「今後はファンドの執行状況を考慮しながら」と書いてありますけど詳しく説明してください。何かファンドがあるんでしょうか。

○嶋崎課長 はい。ファンドに関しましては、今現在も制度としては残っています。ただ活用に関しましては街中の賑わいとかそういうような目的が定まっていますので、所有者さんがそうやって目的をもって活用されるとかいうところに課題があるのかなというふうに思っております。

○篠原委員 国のファンドということですか。

○嶋崎課長 これは市がファンドをもっています。

○篠原委員 了解です。続いて 133、134 ページを併せてお願いいたします。①データベースの作成と活用、②地域学習への展開と市民講座等による普及啓発です。両方とも縮小という評価をなされております。これはだいたい出来たんじゃないかなということで理解させていただいておりますが、特に 133 ページの「今後は市のホームページでの公開方法を検討、計画していく。」と書いてあって、予算は今年度もたぶんついてないと思うんですけど。結局、大切なデー

データベースが出来ました、そのデータベースをじゃあそのままどうするんだということですね。今は公開されていないくて非常にもったいないなと私自身は考えています。検討、計画していくのは非常に素晴らしい文言なんですけど、ぜひ公開できるような方向で検討していただきたい。そうでないと今まで積み重ねてきた加賀市歴史文化基本構想なるものが、市民に全然伝わらないのではないかと感じます。やはりこれはいつでもどこでもどなたでも、そのようなことに興味関心がある方がアクセスできるようなホームページをぜひ作成していただけないかなと思います。これが1点目です。

2点目は学芸員のことが書いてありますけれども、そこにも書いてありますように、加賀市は伊藤常次郎さんが非常に素晴らしい国指定の民族文化財を寄贈なさっています。あと加賀市はいろいろな素晴らしいもの、出土品や埋蔵文化財がいっぱいあります。これは県下、全国的にも誇り得るものだと思うんですけども、これを一般の市民の皆様方が見る機会がほとんどないですね。これは他のところにも関係してまいります、例えば152ページの考古・歴史・民俗資料の保護というところにも関係いたしますけれども、そこには「出土品や収蔵品の特性に合わせた展示や見学者の利用に応じた公開ができるように検討する。」と書いてあるわけです。ここ数年、あるいは私が現職でいましたときには学芸員の皆様方に学校に出前講座として来ていただきました。そういうことで子ども達にもそのような考古資料だとか、民俗資料だとか、そういうような貴重なものを学校まで持ってきてくださった、あるいはこちらから要請すれば見せていただくことができましたけれども、なかなかそこまでは出来ないというのが現状です。このままでいきますと、本当に加賀市の大切な宝であるこのようなものが、データもそうですけど、本物の生きた宝もそのまま死蔵されてしまうんじゃないかなという懸念が十二分にあります。例えば具体的に言いますと、さくらのエントランスホールができるときに、あそこで何回か市の学芸員の皆様方がそこで大切にしているものを展覧するというお話もお聞きしました。ただし開設されてから1年余りが経とうとしていますけれども、ただの1回もなされたことはありません。我々民間の方で何回か利用させていただきながら、いろいろな計画でいろんなものを展示させていただいたことはありますけれども、市として、学芸員の皆様方が出回ってきていって説明して下さるような展覧会は1度もありません。展示施設は必要であるここに書かれています。歴史民俗を総合的に紹介している展示施設がない、これは石川県で加賀市だけです。各いろんな市町いっぱいありますけれども、こんなことしているのは加賀市だけなんです。ですから非常に恥ずかしいと思ってください。私はいつも言っていますが、議員の皆様方はいわゆる費用対効果ということを盛んにおっしゃっていますけれども、これは費用対効果以前の問題だと思っています。加賀市の市民として必要なものを未来の子ども達、あるいは現にいらっしゃる市民の皆様方に加賀市はこんなに素晴らしいと、こんなに良いものがいっぱいあるんだよということを繰り返し皆様方にお知らせする、見ていただくいい機会だと思っています。先ほどからいろんな建物についてのマネジメントの話題も出ていましたけれども、それ以前の問題だと思っていますので、これはぜひとも早急にいろんなところを使いながら、別にひとつのフロア、ひとつの建物を作る必要はないと思うんですよ。フロアの一部だけでもいいんです。市の学芸員の皆様方が来ていただいて説明する、あるいは展示するというようなことを定期的な実施していただけないだろうかと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。



○**鳶崎課長** はい。一つ目の歴史文化基本構想に関してですけど、今現在ここに記載されている1,000点以上の文化財に関しまして、精査している段階でなかなかホームページとかにアップできていない状況であります。

続きまして出前講座は、過去にはたくさんしていたということを聞いておりますが、今現在うちの方では学芸員さんが少なく、学校の要請に応じて出張ということがなかなかできていない現状の中で、学校からの要請があれば学芸員さんの日程等を合わせまして、出前講座に行ける場合は行っていますし、学校さんの方から来ていただくということも今年は確かされていますので。

○**篠原委員** 行っている事例はあるんですね。

○**鳶崎課長** 片山津の学校に関しましては要請があつて、地元なので玉造の資料とかを持って説明には行っています。その他、展示施設に関しましては、篠原委員が言われたようにさくらの方をということで、私どもも揃えてはいたんですが、あそこのエントランスホールというのは貸スペースということでございまして、なかなか展示で常設ということになるとやはり折り合いがつかなかったということがありまして、今はなかなか進展していない状況です。

○**篠原委員** さくらについては別に常設とは聞いていません。期間をきって、市の学芸員の方が何回かなされるということ聞いています。ですから常設なら常設のスペースが絶対にいるわけなので、さくらの他の部屋もいっぱいありますし、我々も地元の一員としてそういう提案もさせていただきました。さくらをつくるときに、それも併せてやはり実際にただの1回も実施されていないのは問題です。何のために市の宝があるのかということ併せて強く言いたいと思っています。いろんな機会を通して市民の皆様に見ていただく、そういうものがあるんだよということ、市が主催して期間をきって、1ヶ月なら1ヶ月、2ヶ月なら2ヶ月、あるいは1週間なら1週間でもいいですよ。そういうことをぜひ積極的にやっただけじゃないか。要請されたから行くというんじゃなくて、これは学芸員の仕事だと思うんです。学芸員が少ないとおっしゃっていましたが、いろんな学芸員いっぱいいますよ。今の課長さんがいらっしゃる部局には少ないかもしれませんが、他にも山ほどいますよ。加賀市の学芸員の方が連帯、連携しながらやっていくということが大変大切でないかなと思っております。今のままでしたら加賀市の文化が本当にわからないです。市民の皆さんに伝えられなくなってしまうんじゃないかという恐れが十二分にあります。これから新幹線が2022年度に向かって加賀市まで延伸してきます。その時に見せていただくものが何にもない。加賀市の歴史は何ですかとよく観光客の方に言われます。そのときに非常に困っています。ですから今はこういう機会にこういうことをやっていますよと言いたいんですけども、それが言えないということで、これは加賀市として非常に恥ずべきことではないかなと私自身は考えております。この件については以上です。

別の件をお願いします。147ページです。大聖寺十万石城下町史蹟再生事業の推進ということで取り上げられています。そこで成果と課題ということで、一番最後の文言です。「今後は住民が主体となり、人々の活動や生活を維持・保存することを念頭において、関連するハード整備とあわせた計画づくりを進めていく」と。住民が主体ということは大変いいことだと思います。私がお聞きしたいのは、歴まち法が今それに向けていろんな資料請求を行い、国に対して働きかけをしている最中だと存じますけれど、その歴まち法の見通しとその進捗状況について教えていただきたい。それから大聖寺町では住民主体として市長にこのことについての要望書

を出しています。その要望書が秋ぐらいにお返事をいただけるとお聞きしていますけれども、それも併せてどこまで進んでいるのか、どのような見通しがあるのかそれを併せて具体的に教えてください。以上です。

○北口参事 はい。大聖寺の整備につきましては、今建設部の方が主体となりまして、いわゆる歴まち法、国土交通省、文化庁、農林水産省3省合同の計画の方で続けていけないかということで進めております。今月、その窓口が国土交通省の方に統括したかたちでございまして、都市計画課の方が相談をしたところ、1ヶ月に1回か2ヶ月に1回、だいたい10回ほど協議を重ねていかないといけないようなスケジュールの話を今聞いたところでは、来月にも2回目の協議にいきたいというふうには思っております、一応国の中で進めていくにはひとつずつ課題というか、位置づけの確認をしていくというところを言われているところでございます。

その中でハード整備ということが主なんですけど、それには50年以上歴史があるとか、それに相当するような活動があるということが前提になってくるようなこともございますので、そういった中で住民が主体となった活動というのがどういったものが合致していくかということ、もう一度精査をし直してどういった計画に位置付けられるかということを考えていきたいと思っております。

要望書の件ですが、ちょっとそちらの方は私どもは把握はしていないものでして、委員の方に対してもお答えできない状況です。以上です。

○篠原委員 ありがとうございます。ぜひ早急に時間的にも、今毎月ということもおっしゃってましたので、それも併せて進めていっていただきたい。ぜひこれが新幹線の目玉となるような、新幹線事業に対する大聖寺、あるいは加賀市全体の目玉の事業になるような、単なる温泉観光だけではもう行き詰っているのが現状なので、それも併せての活動としてぜひ強力に課の垣根、あるいは部の垣根を越えて連携して取り組んでいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

○山下教育長 他、ございませんか。

○疎委員 はい。これは質問というよりお願いなんですけど、運動会とか行きますと、いろいろ地域の方に会ったりします。いずれ統合していくということで、66ページの地域安全パトロールとか、地域の方が運動会とかに来ているのを見ていて、有り難いことだと思ったりしているのと、たぶんこの地域のパトロールをすることで、普段お家にいる人が外へ出てきてお家の状況とかを話し合っ、いろんなことがわかるんだと思うんです。たまたまある小学校へ行ったときに地域パトロールの方が突然気を失って救急車を呼んだんです。それで話を聞いていたらどうも一人暮らしで、お家に一人で帰るのは大変だしもうしばらくここにいるといいよと。結局救急車の人も帰ってなんなく終わったんですけど、こういうことがパトロールすることでわかって、小中学校の安全だけではなくて地域のことがいろいろわかるんだなと思って。今後統合に向けていくときに、こういうことも併せていろいろと考えていただくといいかなと思いました。やっぱり小中学校は本当に地域の要だなと学校行事に参加するにつれて思うようになりましたので、また今後そういうことも考えて統合してほしいなと思いました。

○山下教育長 答弁はよろしいですか。

○疎委員 はい。

○山下教育長 他、ございませんか。

○**新家館長** すいません。1点誤りがありましたので修正の方をお願いしたいと思います。85ページの基本方針の4の(5)図書館機能の充実及び適正管理なんですけど、その数値目標の項目にレファレンス研修と入っていますが、レファレンス件数の誤りです。すみません、修正をお願いいたします。

○**山下教育長** 85ページのレファレンス研修をレファレンス件数に直していただきたいと思います。他、ございませんか。今1時間近くかけていろんなご意見がでましたけど、だいたいよろしいでしょうか。今ご質問、それからいっぱい課題が出たかなというふうに思います。今年度中に早急にしなければいけないことも多々あったかなというふうに思いますし、来年度に向けての課題ということも出てきたんじゃないかなと思います。そういうことを各課の方できちんと考えていただきたいなと思います。この報告書はこれで田邊教授からの評価をいただいているので、ここで賛同できればということで。それではご意見、ご質問いろいろありましたが、改善していただくというようなことで教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について賛成の方は挙手をお願いします。

○**委員** 全委員挙手

○**山下教育長** 全会一致で可決といたします。ありがとうございます。それでは今日は審議事項は1件ですので、次から報告事項に入りたいと思います。報告第46号、家庭教育支援事業の実施について宮下課長お願いいたします。

- 報告第46号 家庭教育支援事業の実施について  
宮下課長 資料に基づき説明

○**山下教育長** 家庭教育支援事業の実施についてということで、親の学びの講演会、一部に講演会、二部に支援者養成講座があるということです。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。また時間がありましたらお越しいただきたいなと思います。報告第47号、加賀温泉郷寛平ナイトマラソン2018の結果について奥村室長お願いいたします。

- 報告第47号 加賀温泉郷寛平ナイトマラソン2018の結果について  
奥村室長 資料に基づき説明

○**山下教育長** 今も説明がありましたけど、9月1日の夕方にはいわゆるベストコンディションじゃなかったかなと。気温も下がって風もなく、本当に前日心配したんですけど非常に良いコンディションで開催することができました。ですからあの難コースにも関わらず96パーセント以上の完走率があったということで。それから当初からこのマラソンは、加賀温泉郷にたくさんの方に宿泊していただくというのが寛平さんの大きな願いであったんですけど、車中泊まで入れれば約3割の方が市内外で泊まっているということで、少しずつ寛平さんの願いが伝わってきているかなということを思います。それと加賀マルシェを同時に開催したこともあって、非常に一般の観光客が多かったなという印象を持っています。ですから売り切れもあって、それからランナーは1人で来るんじゃなくて家族連れとかが多くて、かなり宿泊も賑わったんじゃないかなと思われま。この大会について何かご意見、ご質問ございませんか。

○佐野委員 はい。今回加賀マルシェがあったということで、時間も遅くまでやっていたんですけど、私もそうだったんですけど、どうしても行く時間が遅くなったり、加賀マルシェに行きたいという人にとってはシャトルバスの最終が出発する時間帯が早いんじゃないかなと思ひまして。私は7時近くから乗ったんですけど、もうないですよと言われてたんです。そのバスの方がどっちにしろ戻るのて乗っていいですよと言われて、親切に乗せていただいたんですけど。10時近くまでやっているとしたらもうちょっと遅くまで出発の時間があってもいいのかなと思ひました。あとバスの案内も小さくて、場所がわからなくて加賀温泉駅の人にもバスの乗る場所はどこですかと聞いたんです。そうしたら駅の人が全然知らないみたいで、いやそれは全然携わってないからという感じだったので、もう少し案内を大きくしてもらった方がいいのかなと思ひました。

○山下教育長 今のご意見について奥村室長お願いします。

○奥村室長 はい。バスの運行につきましては、シャトルバスということで行きも帰りも結果的には同じようなかたちになるんですが、どの便でも乗れますよというような、そういったかたちの周知がちょっと不足していたのかなと。行きと帰りというふうに分けてしまつて、実際はどの便に乗っても行って帰れるんですが、その辺の周知がバスの乗り場の案内併せて不足していたかなと思ひます。また次回以降の課題として考えていきたいと思ひます。

○山下教育長 これは全部医療センターからでしたね。

○佐野委員 3箇所くらいありましたよね。

○奥村室長 そうですね。選手の駐車場がありましたので、そことあと一般の方々は医療センターの方に車を止めていただいて、バスの乗り降りには加賀温泉駅からというかたちで、ちょっと若干移動していただくようなかたちになるんです。

○山下教育長 じゃあ観戦に行く人は医療センターに止めて、加賀温泉から乗るとのことだったんですね。

○奥村室長 そうです。

○山下教育長 そうすると今年みたいに加賀マルシェも遅くまでやっていたら、最後乗れなかったということもあったので、ちょっとこれは大きな反省点かと思ひますので、来年以降対策をお願いいたします。他、ございませんか。年々大きな大会になっていく感じがしておりますし、非常に好評ですので、参加人数が増えれば増えるほどまたいろんな問題も出てくるかと思ひますので、よろしくをお願いいたします。

それでは次報告第48号、加賀市議会定例会（9月）の答弁について山本課長お願いいたします。

● 報告第48号 加賀市議会定例会（9月）の答弁について

山本課長 資料に基づき説明

○山下教育長 詳細に関しましてはまた読んでいただければと思ひます。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○棟委員 はい。8ページの小中学校の冷房のリース方式によるエアコン設置の検討材料という、これはなんなんですか。

○山本課長 はい。エアコンのリース方式の検討もという答弁をしております。この内容につきましては、これまでエアコンを整備してきた学校では、エアコンの機械を購入して、それを取り付けたという、そういったやり方でしてきました。そうしたところリース業者の方から、学校に付けるエアコンもリースというやり方がありますよという提案がありまして、全国的にもリース方式を採用している学校もあるようです。リース方式を採用するメリットとしましては、リースですから10年間とかでいわば機械を分割購入するようなかたちになるんです。それをリース料として毎年払っていくんですけど、そうすると1年あたりの市のお金の負担額が平準化されて1年あたりの負担額が小さくなる。これまでみたいに購入して整備しようとする整備年度だけが負担が大きくなりますので、平準化されるという、そういったメリットがあります。

○疎委員 結局は一緒なお金を払うけれども、その時はちょっと少なくていいということですね。

○山本課長 そうですね。やはりリースですので、全体ですと手数料分がちょっと高くはつくんですけども平準化されるという。あとメンテナンスもそれを含めたリースもあると聞いておりますので、そのところを検討していきたいという、そういった内容の答弁です。

○山下教育長 他、ございませんか。よろしいですか。それではその他に入りたいと思います。高岡市指定無形文化財「雅楽」保持団体 洋遊会によるスクールコンサートについて宮下課長お願いいたします。

- 高岡市指定無形文化財「雅楽」保持団体 洋遊会によるスクールコンサートについて  
宮下課長 資料に基づき説明

○山下教育長 これは昨年度からスタートしまして、今年は山代中学校と東和中学校ということで10月15日に開催をするということです。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。山下委員何かありますか。

○山下委員 お越しくくださいませ。

○山下教育長 特になければ次にいきます。その他の2番目、加賀市小中学校科学作品展の選考結果について越中谷次長お願いいたします。

- 加賀市小中学校科学作品展の選考結果について  
越中谷次長 資料に基づき説明

○山下教育長 加賀市内のすべての小中学校から作品が出されました。先日の十万石祭りの両日、市民会館3階の大ホールで作品展を行い、たくさんの方に見ていただきました。そこに優秀賞、優良賞が載っています。優秀賞を県に出品するというところでございます。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。それでは続いて加南地区教育委員会連絡協議会研究大会について山本課長お願いいたします。

- 加南地区教育委員会連絡協議会研究大会について

- 山下教育長 20 ページに河南地区教育委員会の連絡協議会の詳細が載っておりますが、篠原委員には発表をしていただきます。またよろしくお願いいたします。それから夜は情報交換会もありますので、予定に入れておいてください。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。それではよろしくお願いいたします。ではその他のその他で山本課長お願いいたします。
- 山本課長 はい。机の方に右上に参考と書いた資料を配布させていただいております。これは8月29日に開かれました石川県市町教育委員代表者会、篠原委員さんに出席いただきましたけれども、そこで配布された資料です。中身については2ページ目以降に記載の通りでして、文部科学省が作った資料で教育長、教育委員になられた皆様へということで、教育長、教育委員としての基本的な事項が書かれている資料です。教育委員の皆さんにも共通理解した方がいいんじゃないかという篠原委員からのアドバイスもありまして配布させていただいた資料です。以上です。
- 山下教育長 篠原委員、何かありますか。
- 篠原委員 先日の代表者会議ときにこの資料を配布されました。今まで私もこんな資料を拝見したことがなかったので、改めて読んでみる必要があるかなと思って、皆様方もご存知の方多いと思いますけれども、ぜひ配布してもらえないだろうかと事務局にお願いした次第であります。また初任の教育委員の研修会がたぶん来年の2月くらいには予定されていますので、今回は佐野委員だと思いますが、佐野委員にはこの中からもしわからなかったこととか、困っていることとかということをどんどん質問していただけないかと思っています。基本的に我々は素人という立場で教育委員を務めていますので、それも併せていろんな話ができるんじゃないかなと思ってお願いをした次第であります。以上です。
- 山下教育長 ありがとうございます。他、ございませんか。
- 篠原委員 お願いします。前回の委員会のときをお願いをしていたと思うんですが、IoTラボのさくらの整備状況についてお聞きしていたんですが、そのことについてよろしくお願いいたします。
- 宮下課長 すみません、資料を事務所に置いてきてしまったんですが、今年の春、産業建設委員会の方で資料として提出されていたようで、今年の10月からインキュベーションルームを8部屋奥に増設されるということで、今ものづくりルームとして使っているお部屋も奥の方に移動するというので、今作っているものづくりルームについては研修室になるというふうに聞いております。あとでまた資料をお持ちします。
- 篠原委員 よろしくお願いいたします。
- 山下教育長 他、ございませんか。それでは次回の定例会について山本課長お願いいたします。

● 次回教育委員会定例会日程について

山本課長 説明

○山下教育長　10月24日水曜日、13時半からということで予定に入れておいてください。  
この際他にございませんか。よろしいですか。  
それでは以上で第11回教育委員会定例会を閉会いたします。ご苦勞様でした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。